

特別支援教育だより 6月号

令和5年6月20日発行

こころのお便り

杉並区立高井戸第四小学校

校長 本橋 忠旗

指導教諭 早川 宏（たかし教室教員）

「どうしてできないのだろう」「どうしてうまくいかないのだろう」

子供のことについて、大人は、時にはこのように思い悩むことがあるでしょう。「一人一人個性があり、成長の仕方はみんな違うものだよ」「誰でもできること、苦手なことがあるよ」と、頭ではわかってはいても、目の前で起こっていることに対して困り感や不安でいっぱいになることがあるでしょう。焦りの気持ちが強くなると、「他の子はできているのに、うちの子はできていない」など、他の子供との比較をするようになります。ますます心配が大きくなりがちです。

ちょっとしたヒントや情報を…

子供たちや保護者の皆様一人一人の願い、思い、悩みに寄り添いながら、家庭、地域、学校とが力を合わせて子供たちの成長を応援していくように、子供の成長についてちょっとしたヒントや情報を盛り込み、特別支援教育だより『こころのお便り』を本校特別支援教育担当から月1回程度発行いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。



1. 子供たち全員の成長に必要な特別支援教育

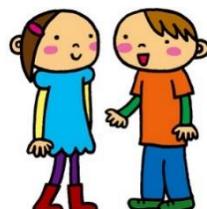
- ◎ 子供たちは皆、性格、興味関心、得意なこと、苦手なこと、学び方、感じ方、成長の仕方など、一人一人が違った個性をもっています。
大人になるまでの長い成長の過程で、子供たちはいろいろな集団や環境に属し、いろいろな人との出会いや関わりが続く中で、学習、対人関係、生活などで、うまくいったりいかなかったりを繰り返します。どんなことでうまくいくか？ どんなことでうまくいかないか？
- ◎ 「今は大丈夫。うまくいっている」と思っていても、思春期でつまずくケースもあります。今はとても困っていても、やがて落ち着くケースもあります。どのように成長するか、どのようなことでいつづまずくかは、一人一人が違い、複雑で予測が難しいものです。
- ◎ 子供自身が困難を自分で乗り越えたり解決できたりすることがあります、困り感が長く続いたり、対応が難しくなったりすると、自信や意欲を著しく失ってしまうことがあります。そうすると、その後の成長に大きく影響を及ぼしてしまうことがあります。
- ◎ 周囲の大人たちが、ちょっとサポートを工夫したり、困りごとや悩みに寄り添ったりするだけでも、子供はやる気が高まったり、思わぬ成長を見せたりします。子供は成長しようとするエネルギーを内に秘めています。子供が可能性や能力、個性を大いに發揮し、自信や意欲を高めて生活や学習ができるように、家庭、地域、学校とで連携してサポートしていくことが大切です。
- ◎また、苦手なことがあったり、悩んだりしている友達に対して、周囲の子供たちはそのことをどのように感じ、どのように関わっていくか。これも大切な特別支援教育の役割です。（裏面へ）

2. ごほうびでやる気を引き出そうとすること

- ◎ 大人が子供に何かを頑張らせたいとき、「毎日ちゃんと宿題をしたら、欲しいゲームを買ってあげるよ」など、大人が言わば“交換条件”をつけることがあります。これに対して専門家の多くは、「それではダメだ。子供がすぐに報酬や見返りを求めたり、打算的になったりするようになる」と警告します。
- ◎ 実際にそういう側面もあるし、正しいことでしょう。ただ、今回のケースですと、子供がなかなか勉強に取り組まないとき、頑張ってやってくれるような良い方法や言い方が見つからないとき、しかも大人に気持ちの面で余裕がないとき、本当は良くないことかもしれないけど、ごほうびを交換条件に出すことは、責められないと私は思います。実際の私たちの生活、子供の成長の仕方…、専門家が考えるような、そんな理想通りにはいかないものです。
- ◎ では、子供がなかなか頑張ってくれないとき、どうしてもごほうびでやる気を引き出さなければいけない場面で、どのようにしたらよいでしょうか。いくつか例を紹介します。

- ◇ 品物を渡すだけでなく、「よく頑張ったね！」などと、必ず労をねぎらうような言葉を添える。子供の頑張っているときの苦労話も、きちんと聞くようにする。
 - ◇ 家族みんなでおいしいものを食べに行くなど、子供の頑張りのおかげで、家族みんなで喜ぶようなごほうびにする。
 - ◇ たまには、交換条件を出さなくても、大人が子供の頑張りに気づいた形にして、サプライズでごほうびをわたす。「自分のことを見正在してくれる！」となり、子供としては最高に嬉しい！

単なる報酬や見返りの交換だけにはしたくないです。大人からの愛情が感じられるようなものにしたいですね。また、好きなもの、得意なものにとことん打ち込むことなど、「報酬や見返りがなくても、頑張った！」という経験も子供時代に積んでおきたいですね。



3. 校内の相談窓口（相談体制）

学習、生活、友達関係、情緒面など、気になることがありましたらご活用ください。

- ・各学級担任
 - ・養護教諭（横山）
 - ・特別支援教育コーディネーター 加納（4年担任）、島田（図工）、篠原（ことばの教室）
齋藤（たかし教室）、横山（養護）、岩田（2年担任）、山口悠介（5年担任）
 - ・ことばの教室担任（吉廣、篠原、我謝、日比）
 - ・特別支援教室「たかし教室」担任（早川、山口千尋、小岩、齋藤、小山田、板垣）
 - ・スクールカウンセラー（古谷）

いずれでも相談の窓口になります。秘密は厳守しますが、必要に応じて校内で連携をとり、チームでお子さんの成長のために具体的な対応に取り組みます。